



観客の邪気を祓うメンドン

地域の災厄を祓い、幸いをもたらす硫黄島の奇祭

「八朔太鼓踊り」は、毎年、旧暦の8月1日・2日に硫黄島の熊野神社で行われる、地域の人々の邪気を祓う伝統行事です。この祭りの最大の見せ場は、仮面神「メンドン」登場の場面です。

メンドンに扮するのは島の男たち。蓑を身にまとい、スツベと呼ばれる御神木の枝を持ち、背負子に紙を貼って作ったテゴという奇怪な面を被ります。メンドンが持つ枝葉で叩かれると邪気が祓われると言われています。

祭りの日の夕方、観客が見守る中、神社の前で若者たちが輪になって太鼓踊りをしていると、突如、拝殿奥から1体のメンドンが走り込み、



【三島村】

薩摩硫黄島メンドン
(硫黄島八朔太鼓踊り)

ユネスコ無形文化遺産「来訪神・仮面・仮装の神々」
国指定無形民俗文化財

夏から秋への季節の変わり目に行われる硫黄島の伝統行事「八朔太鼓踊り」をご紹介します。



八朔太鼓踊りの様子
鐘を叩く唄い手を、矢旗を背負い太鼓を打ち鳴らす踊り子が囲む勇壮な踊り

踊り手の周囲を駆け回り、去っていきます。その後、次々とメンドンたちが走ってきては、踊りの邪魔をしました。観客たちに悪戯をはじめます。踊りの終わった後も夜中まで出没をくり返し、地域と人々の災厄を祓います。

薩摩硫黄島のメンドンは、「来訪神・仮面・仮装の神々」として、全国の10行事とともに、2018年にユネスコ無形文化遺産として登録されました。

祭りの舞台

熊野神社

開催日： 2019年8月30日(金)・31日(土)
※毎年、旧暦8月1日・2日に開催

住所： 三島村 熊野神社

鑑賞： ツアーでの見物可能

TEL： 099-222-3141(三島村教育委員会)

